とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

テーマ：自然と音

「何を作ろうかなぁ～」
わくわく！ドキドキ

活動①　端材を使って自由に作ってみよう！

（内容）　10月22日

・ヒノキのかんなくずプールの中に入って、五感で自然を感じる。

・端材にヤスリをかける。
・端材を組立て接着剤で固定する。
・ひもをつけたり、ポスカで色付けする。

木材に触れる経験がなく
端材も色々な形があり
作り出すまでに試行錯誤が続く

（子どもの姿・気づき）

・なかなかイメージがつかず、戸惑った様子！「どうしたらいいの？」と質問する子もいました。
・木にヤスリをかけてみた⇒ザラザラしていたけど、ツルツルしてきた⇒もっと磨いてみよう！
・木を重ねたり、くっつけたりして試行錯誤⇒友だちの作っている様子を見て、イメージが膨らんできました。
⇒「あっ！飛行機に見える」⇒ひもをつけたらどうかなぁ
⇒色をつけてみたい⇒絵を描いてみたい
・子どもたちの「やってみたい！」のイメージがどんどん膨らんでいきました。
・1人で何個も作る子、友だちと一緒に協力して作る姿もみられました。

活動②　音を出してみよう！

（内容）　11月11日

・木材を使って、マルタネット（カスタネット）を作る。
・木に絵を描く。
・組み立てて完成！
・不思議な森の楽器「マキンバ」を使い、木の音色を奏でて探究する。

・民族楽器も加えて、みんなで音楽に合わせて演奏する。

活動③　森の音楽会

12月14日　保護者に披露しました！

（子どもの姿・気づき）

・自分で作ったマルタネットが嬉しくて、友だちと一緒に叩いて楽しむ姿が見られました。
・「マキンバ」は、叩く所により音の違いに気づき、色々な所を叩いて試していました。
・民族楽器に触れる事も初めてで「どうやったら音がでるの？」と、考えて押したり、叩いたりしていたけど音が出ない。指で弾いたり、スティックでギザギザした所をこすって音を出す事がわかると、何度も繰り返し音を出す事に夢中になっていました。
カリンバ　ギロ　ギター　太鼓　シェイカー　マラカス等
・友だちと色々な楽器を持ち寄れば　音楽が生まれる！
・楽譜がないリズムで、子どもたちがのびのびと音を奏でる事ができました。